

東高5期生 遊子「みちのくの旅」を楽しむ

台風の狭間に、みちのくの歴史と出で湯を巡りました

みちのくの旅

2018年10月2日(火)～10月4日(木)

仙台空港集合→蔵王エコーラインなど経由→蔵王お釜→遠刈田温泉泊
→東北自動車道経由→中尊寺・毛越寺→東北自動車道経由→オニコウベ温泉泊
→東北自動車道経由→瑞鳳殿・仙台城址→仙台空港解散

旅のはじまり

東高5期生の同期会は、2015年の卒業60周年記念で旭川(本祭り)と札幌(前夜祭)を会場としましたが、それ以前の「喜寿のつどい(77歳)」では神戸や須磨、また一昨年の「傘寿散策(80歳)」では姫路から淡路島まで足を延ばしています。東京の幹事から昨年、みんなの集まりやすさを考えて、つぎの会場は北海道と関西の中間にあたる仙台にしてはいかがかと提案し、今回はじめて「みちのくの旅」が実現しました。

近頃の同期会は全員に案内するのではなく、有志(遊子*)の集まりとして、その時々、企画の内容によって適宜声掛けするようになってきています。今回もはじめの予定では、幹事の自家用車3台を使ったごく少人数の旅行を考えていましたが、旭川や札幌などで口伝えに参加者が増えて20名を超え、中型バスを利用することになりました。

*遊子：家を離れて他郷にいるひと(ここでは旅にあって故郷を想う人々と転意)

台風の狭間、仙台空港に集合

かつて「喜寿のつどい」、「傘寿散策」とも10月の台風に悩まされましたが、今回の「みちのくの旅」もふたつの大型台風、24号と25号の狭間に行われました。飛行機を利用する旭川・札幌・神戸組は24号が通り過ぎたあとで無事仙台空港に到着し、東京組は新幹線・仙台空港アクセス線経由で、予定通り昼過ぎに全員20名が空港ロビーに集合しました。二泊三日の「みちのくの旅」が終わり、全員が無事に帰郷したあとで、つぎの25号が上陸してきます。

旅の初日、仲秋の秋晴れの中を出発して蔵王エコーライン経由で、エメラルドグリーンの神秘的な火口湖「お釜」を期待しましたが、紅葉の始まりを楽しむ道すがら高度をあげるにつれて、次第に霞に視界を阻まれ、途中で引き返すことになりました。これが今度の旅行で唯一の予期せぬアクシデントとなります。



遠刈田温泉・鬼首温泉の湯めぐり

遠刈田（とうがった）温泉は 150 年前に創業して、カッパが湯治したという老舗の「旅館三次郎」で、初日はゆっくりと疲れをとりました。日本酒党の面々には、カッパをかたどったお銚子が愛嬌を振りまいてくれました。幹事室を開放した二次会も満席の大盛り上がりとなります。

二泊目の鬼首（おにこうべ）温泉は鳴子温泉のさらに奥にあります。初日とは趣を変えて高原の潇洒な「リゾートパーク ホテルオニコウベ」を選びました。朝ビュッフェの窓外にはスキー場のスロープが身近に眺められます。



平泉中尊寺から仙台城址まで

旅の二日目、遠刈田温泉から東北自動車経由で時をさかのぼり、平安時代末期藤原氏の時代へ赴きます。世界文化遺産に指定された中尊寺金色堂と毛越寺の池を巡りました。鬼首温泉を出発した旅の最終日は、伊達藩祖の霊屋である瑞宝殿で想定外の坂道に悩んだあと、石垣が残る仙台城址から仙台の街並みを望むことができました。



旅のおわりに

仙台城址の本丸会館で三日目の昼食を済ませたのち、各方面へ帰るメンバーと仙台駅で別れました。「傘寿散策」から 2 年が経過したので、参加者の平均年齢は 82 ± 0.5 歳となります。旅の翌日以降、各地の幹事や時々の特任幹事である、旭川（岡田）、札幌（大野）、仙台（駒形）、神戸（片岡）らの諸氏と連絡がとれて、それぞれ無事に帰着したことが分かって安堵します。皆さん、旅の計画から現地での細やかな心配り、お世話様でした、感謝しています。

東高 5 期生は「喜寿の集い」、「卒業 60 周年記念」、有志の「傘寿散策」と同期会を続けてきましたが、つぎの「米寿の祝い」までは歳月が空きすぎると考えて企画された今回の「みちのくの旅」です。今年の参加人数は男女同数の総勢 20 名でしたが、当初申し込まれていても体調が整わずに参加できなかった方が数名います。今後とも年齢に応じて、みなに優しく意義のある同期会の企画を考えていく必要があります。

平泉中尊寺・毛越寺

毛越寺（もうつうじ）寺院はすべてが焼失。池を中心とした優美な浄土庭園は平安時代の遺構。

中尊寺金色堂 国宝。平安時代末期、藤原氏初代清衡（きよひら）創建当初の唯一の遺構。毛越寺などとともに世界文化遺産。

鬼首温泉

リゾートパーク ホテル オニコウベ
スイスの山小屋（シャレー）風、高原の赤い屋根。
泉質＝アルカリ性単純温泉。無色、無味、無臭。効能＝神経痛、筋肉痛、関節痛、冷え性、病後回復期。

遠刈田温泉

遠刈田（とうがった）温泉 旅館三次郎
大正ロマン漂う宿から蔵王連峰を見渡す。泉質＝塩化物泉、弱酸性温泉。効能＝適応症、神経痛、筋肉痛。

蔵王エコーライン経由 お釜

蔵王お釜 エメラルドグリーン神秘的な火口湖。
天候や陽光の差し方で湖水の色が刻々と変わるため五色湖とも呼ばれる。

瑞宝殿・仙台城址 JR仙台駅

瑞宝殿 古く藩祖伊達政宗らの霊屋で、桃山文化を今に伝える。仙台城を見つめるよう西に向けて建てられる。

仙台城址 伊達政宗以降の築城だが（別名青葉城）明治の火災や仙台空襲などでほとんどが焼失し、石垣だけが残された。

仙台空港アクセス線 仙台空港

解説は「TAC出版 仙台・松島・平泉 2017」から

©2018 ZENRIN DataCom
地図データ ©2018 ZENRIN

こしかたをいとおしみ ゆくすえをことほぐ

2018年11月15日

旭川東高等学校5期生 東京地区幹事 福田 淳一 湊 治 石神 絢夫 記